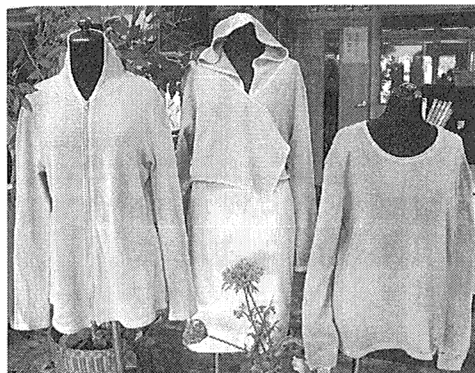


和紙繊維カットソー「癒紙乃糸」 来春夏物から展開 カスガアパレル

婦人カットソーのカスガアパレル(株) (大阪・南本町、TEL:06-6263-7405)は、和紙繊維を使用したカットソーを開発した。「癒紙乃糸」(いやしのいと)という商品名で商標登録しており、商品名とのダブルネームでのOEM展開を計画している。

和紙繊維は国内の撚糸メーカーが開発したもので、マニラ麻を原料とする和紙を細くカットし、特殊な撚糸技術でカットソー用として使えるようにしている。カスガアパレルでは、国内ニット工場の協力を得ておおよそ1年をかけて製品化を果たした。特長は、加工によるものでない、素材そのものが持つ機能性。繊維自体に湿度を調整する働きがあり、周りの湿度が高い時は吸湿、低い時には排湿して快適な着心地を維持するほか、和紙繊維の糸はシャリ感に優れていることから、編み立てられた製品はドラ



天然の調湿機能、優れたシャリ感が特長

イタッチに仕上がる。また、重量が麻の3分の1程度と、軽いことも特色となっている。

来春夏物として、3素材、15型を企画している。3つの素材は、和紙繊維、和紙繊維/綿スラブ、和紙繊維/かすり調ポリエステル。色合いを含めて、ナチュラル感のあるデザインにしている。主にアパレル向けOEMで展開することにしており、12月6日と7日に開催される「ジャパン・ベストニット・セレクション 2011」に出展するなどして提案を進めていく。

織

研

新

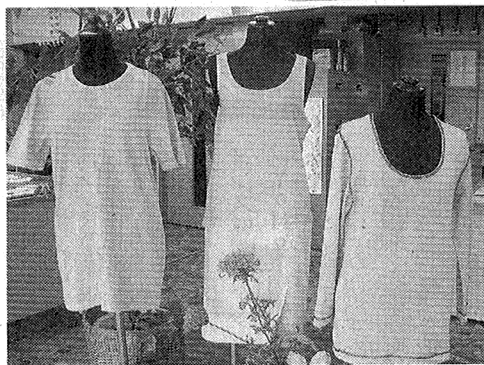
聞

2011年(平成23年)12月7日

水曜日

カットソーOEM(相手先ブランドによる生産)メーカーのカスガアパレル(大阪、今井浩輔社長)は12年春夏向けから、抄織糸を使ったカットソー「癒紙乃糸」(いやしのいと)の製造・販売を始める。

抄織糸は和紙を細くカットし、撚りをかけた糸。織物や横編みに使われることが多く、丸編みは珍しい。丸編み機にかかると細い糸がなかつたため、抄織糸メーカーが丈夫なマニラ麻の和紙を極細の1・5ミに裁断、特殊に撚るところで、30番単糸が出来上がった。製品化は容易でなかったが、カスガアパレルは協力工場と最適な条件を見つけた。



いとドライな触感と麻の3分の1の軽さ、毛羽の少なさ、吸汗速乾、通気性の良さが特徴で、製品は手洗いが可能。同じ番手で比較すると綿糸の3倍の値段だが、相場が安定しているのも魅力という。

同社は抄織糸100%、綿50%混、ポリエステル(紺系)50%混を作る。小売価格は6900~8900円の見込み。マイナスイオン加工もオプションで行う。秋冬向けにウール混を開発している。

同社の販売分野は、ミセス70%、キャリア10%、メンズ10%、介護・制服10%。今期は婦人服中心に東京市場の開拓やパチンコ・カラオケボックス、ホテル・旅館など法人向けユニフォームの新規開拓に力を入れており、12年2月期は売上高30%増を見込む。

和紙のカットソー「癒紙乃糸」 カスガアパレル 12年春夏物からOEM開始

経済産業省の11年度海外販路開拓の支援を受けながら中国内販を目指しており、4月は上海Jモードフェアに参加した。来年1月には香港ファッションウィークに出展する。